

令和6年度 地域を志向した研究 成果報告書

テーマ		社会および個人の禁煙を科学する研究			
研究者 組織 連携 代表者	代表者	所属・職	薬学部・教授	氏名	森本 達也
		所属・職	氏名	所属・職	氏名
		薬学部・講師	刀坂 泰史	川根本町町役場・室長	中野 吉洋
		薬学部・講師	砂川 陽一	川根高校魅力化コーディネーター	伊神 花織
		薬学部・助教	浜辺 俊秀	静岡市静岡医師会・理事	鏑木 敏志
		食品栄養学部・教授	新井 英一	静岡県薬剤師会・会長	岡田 国一
		食品栄養学部・助教	川上 由香	SBS静岡健康増進センター・所長	古賀 震
		静岡市総務局職員厚生課・産業医	加治 正行	聖隷健康サポートセンターShizuoka・所長	鈴木 美香
		静岡大学・准教授	赤田 信一	国際医療福祉大学熱海病院・教授	佐藤 哲夫
		静岡県健康増進課・課長	小嶋 由美	島田市民病院・事業管理者	青山 武
		静岡県健康増進課・主査	戸井口 淳子	川根本町いやしの里診療所・所長	清水 史郎
		静岡市健康づくり推進課・主任	塩崎 美奈	静岡県立病院機構・理事長	田中 一成
		日本禁煙科学会・会長	高橋 裕子	薬学研究科・博士2年	川瀬 裕斗
		熱海市役所・室長	佐藤 真由美	薬学研究科・博士2年	鳴田 竜也
	川根本町教育委員会・室長	高畑 良成	薬学部・6年	色川 雄大	
研究の目的、 内容、方法、 研究成果、 今後の課題等	<p>大学は市民にも開かれた場所であり、誰にとっても安全なキャンパスを目指すべきであるが、禁煙は進んでいない。そこで、本研究の目的は、<u>本学の学生に、「禁煙」に関する支援者の講習会を受講させ「禁煙支援士」の資格を取得させる。さらに、行政や医療機関と連携し、「禁煙」に関する講習会や活動に学生を参画させることで、将来、地域での健康サポートに関する企画力や調整能力を養わせる。また、地域住民と協力して、「禁煙」に関する公開講座を開催し、地域の禁煙活動展開することである。</u></p> <p>1) <u>日本禁煙科学会が提供している「全国禁煙アドバイザー育成講習会」を共同開催した。</u>内容に関しては、静岡県、静岡市、熱海市、島田市、川根本町と学生が中心となり企画すること（教員がサポート）で、禁煙における意識向上をさらに促せた。</p> <p>2) <u>上記講習会を未受講である本学学生に受講させ、「禁煙支援士」の資格を取得させた。</u></p> <p>3) <u>禁煙指導士の資格を取った学生が、本学教職員を対象とした禁煙に関する「FD講習会」「健康測定会」を企画し、運営した。</u></p> <p>4) <u>禁煙指導士の資格を取った学生が、一般市民を対象とした禁煙に関する「公開講座」「健康測定会」を静岡県、静岡市、牧之原市と企画し、共同で運営した。</u></p> <p>5) <u>禁煙指導士の資格を取った学生が、県や市、町の保健所機能、さらには医療機関の禁煙外来を活用し、禁煙を希望する喫煙者を対象とした禁煙指導を行う。</u></p> <p>6) <u>静岡市と共同で、学生が主体となって子供の禁煙、受動喫煙を主題とした研究会を開催する。さらには、「たばこ対策応援団」の講師を行った。</u></p> <p>本研究対象がコミュニティーワークのある学生、すなわちCOC事業におけるフェロー認証対象となるような学生の育成を念頭においており、<u>卒業後も、禁煙支援をはじめ地域に関する企画運営力を持って、健康サポートができる人材育成</u>となることが期待される。</p> <p>さらには、日本禁煙科学会の提供している全国禁煙アドバイザー育成講習会を開催することで静岡県内の禁煙支援士が増え、禁煙指導の機会も多くなり、禁煙に対する意識の向上が期待される。官民学一体となった「<u>煙のない社会</u>」を目指した静岡県独自の取り組みが、全国へ波及することが期待できる。</p>				

※別途研究成果資料を添付する。

令和6年2月10日提出